

\$%





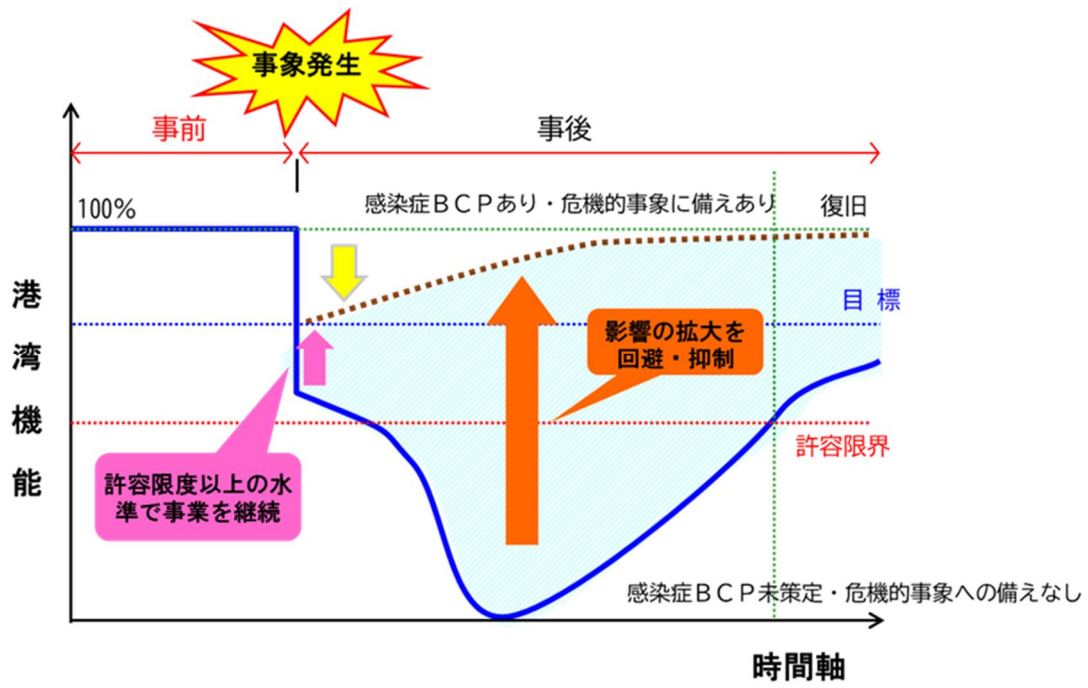


6BI 7 \$,

\$##

, , 9)

6D



〇

[ ]

[ ]

[ ]



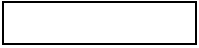


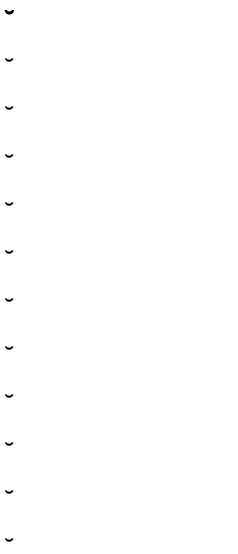
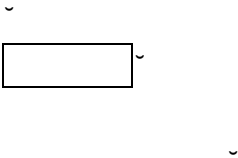
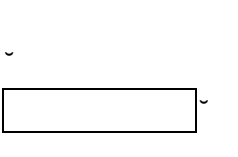
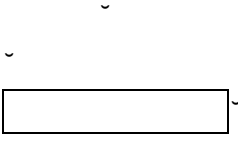
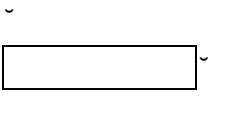
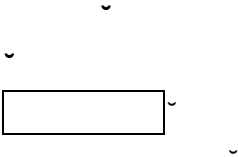
			ㄗ&#123	\$\$#&#123		
			ㄗ' &#123	\$%#&#123		
			ㄗ' &#123	\$%#&#123		
			ㄗ' &#123	) ##&#123		
			ㄗ( &#123	%' &#123		
			ㄗ* &#123	\$&#123		
			ㄗ( &#123	\$+ &#123		
			ㄗ* &#123	%&#123	S+ #`	
			ㄗ&#123	&%&#123		
			ㄗ( &#123	&#123		
			ㄗ* &#123	( %&#123		
			ㄗ\$%&#123	' + &#123		





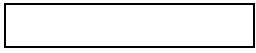
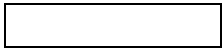
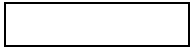










〇

〇

海外発生期	国内発生早期	国内感染期	小康期
検温やマスク着用等の所要の防疫措置			
感染発生事例や予防・防疫措置の情報収集及び情報共有			
感染予防に係るポスター掲示やアナウンス			
予防・防疫資機材の備え置き把握・他港との相互融通			
		職員への感染に備えたローテーション勤務や職務の代替性強化	衛生用品等感染予防対策品の補充や対応の見直し、感染症BCPの改訂

‘ ‘

‘

‘  
‘  
‘ ‘

‘

‘

‘

—

‘

‘

‘ ‘

‘

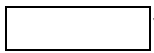
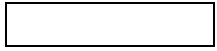
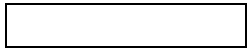
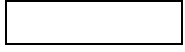
‘



 対処項目	感染症BCP構成員													船舶・船社・船舶代理店等
	水際・防災対策連絡会議構成員													
	港湾管理者	海上保安部	税関	入国管理局	整備局	運輸局	検疫所	自治体	警察消防	港運事業者	民間企業	保健所	その他加盟組織	
 当該船員状況把握 第1報	○	○	○	○		○	○			○	○	○		○
 情報共有	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	
 当該船員状況把握 第2報以降														○
 情報共有	○	○	○	○	◎	必要の都度	○	○	○	○	○	○	○	
 入港判断 ※	○	○	○	○				◎						○
 検疫場所調整	○	○	○	○				◎						○
 陽性者対応	○	○		○	○			◎				◎		○
 濃厚接触者対応	○	○		○	○			◎				◎		○
 長期停泊の場合のバース調整	◎	○	○	○				○						○
 他港連携が必要な場合の調整	○				◎			◎						○

◎主体となる機関、○必要に応じ連携する可能性のある機関

※無線検疫手続きによつてのみ入港が許可される港であるため、感染症の疑い患者へ検疫対応は、緊急を要するような例外的な対応として検疫所長の許可を受けた場合のみ実施



海外発生期	国内発生早期	国内感染期	小康期
災害対応従事者の感染対策			
災害対応従事者の検温			
支援船のバース調整			
	屋内での支援活動や打合せにおける滞在時間の縮小		
	オンラインでのリエゾン対応の検討		複合災害における感染症BCPガイドラインの検証・改訂

	感染症BCP構成員													災害支援派遣部隊、支援船
	水際・防災対策連絡会議構成員													
	港湾管理者	海上保安部	税関	入国管理局	整備局	運輸局	検疫所	自治体	警察消防	港運事業者	民間企業	保健所	その他加盟組織	
 派遣部隊の感染状況把握、第1報	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○
 情報共有	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	
 派遣部隊の感染状況把握、第2報以降					◎									○
 情報共有	○	○	○	○	◎	必要の都度	○	○	○	○	○	○	○	
 陽性者対応、濃厚接触者対応※							◎					◎		○

◎主体となる機関、○必要に応じ連携する可能性のある機関

※無線検疫手続きによつてのみ入港が許可される港であるため、感染症の疑い患者へ検疫対応は、緊急を要するような例外的な対応として検疫所長の許可を受けた場合のみ実施



C764

%

56C

---

<sup>2</sup>地方整備局等、港湾管理者、港湾運営会社、船舶運航会社等の連携の下に、サーモグラフィーや防護服、マスク、ゴーグルなど衛生用品等の感染予防対策用品の備蓄状況の把握や消毒等感染拡大防止策の手順と業務依頼先の確認、感染者発生時の待機場所、動線等の確認（検疫所や保健所と調整が必要）など。特に、国際航路に関しては、感染の疑いが発生した場合の船内またはターミナルの隔離室の整備（陰圧機能の付与）、船内待機の場合の汚物処理の検討が重要。

\$

C764